

後志管内の積丹半島周
辺の沖合では、今月下旬
から人気の釣り物の一
つ、ヒラメ釣りがスタ
トする。

ヒラメ釣りが多くの釣
り人をひきつけるのは、
強い引きや食べておいし
いことが挙げられるが、
さらに一匹、一匹を丁寧
に釣っていくというゲー
ム性の強いことが、釣り
人の心をとらえているよ
うだ。

三角バケと呼ばれる特
殊な重りの上に二本また
は二本のハリスを出した
胴突き仕掛けを付け、さ
らにバケの後部からもバ
ケ尻と呼ばれるハリス一
本を出す方法が一般的。
また、仕掛けには餌を使

船釣り

28

ラタイプと毛針の二つの
タイプがある。毛針仕掛
けを好んで使っている人
もいるが、現在はオオナ
ゴを一匹掛けにした餌釣
りが、積丹周辺では主流
の釣り方となっている。
さおは二・四一・七
尺、重り負荷80〜120
号が適当。バケは重さが
五百gを中心に四百〜六
百gが主に使われる。バ
ケの色や材質にこだわる

ヒラメは慌てずゆっくり

人が多いが高価な物が必
ずしも釣れるわけではな
く、色違いなどを何種類
か用意しておけばいい。
釣りは、バケを底ま
で落とし、着底したら三
つ、魚の当たりを感じ

前後が二百g程度巻ける
手巻きの両軸リールで、
深さの表示ができる物。
こつ。魚の当たりを感じ

呼吸置いてからゆっく
りリールを巻く。ヒラメ
釣りのこつは掛かったと
きに決して慌てないこと
と覚えておこう。
また、海面からヒラメ
を上げるときは必ずしも
網を使うこと。



